

学校教育目標『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

日比中だより

第5号



TEL (0848) 22-6513 FAX (0848) 22-2002

URL <http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/> 令和6年7月11日(木)

メールアドレス hibizaki-j@onomichi.ed.jp 尾道市立日比崎中学校

赤船祭を終えて

～赤船祭【体育競技の部】の振り返りより～

赤船祭【体育競技の部】はリーダーと3年生はもとより、全ての生徒たちの成長が感じられる行事となりました。これから予定されているサバプロや赤船祭【文化発表の部】にも繋がる行事となりました。各学年からの「赤船祭体育競技の部を振り返って」（一部抜粋）の紹介をします。振り返りの中には、「一生懸命、全力、達成感、一体感」に加え、生徒会のスローガンである ONE TEAM等のキーワードが随所に見られ、仲間と共に目標に向かって取り組むことの素晴らしさやこれからの学校生活を楽しく、充実させたものにしていきたいという思いが伺えました。

1年生の振り返りより

○今までは熱くなりすぎるのは格好悪いと思っていたけれど、全力で一生懸命に頑張っている仲間や先輩を見て「本気でやることは格好いい」と意識が変わりました。先輩が盛り上げようとエールを歌ったり、応援したりしている姿を見て本当に胸が熱くなりました。



○赤団が白団を讃えたり、白団が赤団を讃えたり、讃え合っていて凄いなと思いました。3年生がいてくれたから赤船祭が楽しかったと思います。ずっと引っ張っていつてくれたから感謝したい。僕も3年生になったら今の3年生みたいに引っ張っていききたい。

○先生の殻を破るための「全力のじゃんけん」を見て、私も自分の殻を破ることが出来ました。それからは必死に練習をして友達とも休憩時間等を使って練習したり、家での空き時間を使って練習したりしてとても成長することが出来たと思います。皆で協力し、自分達の殻を破り思いっきり全力で楽しめた赤船祭だったと思っています。

○私は初めての赤船祭でしたが、生徒で創りあげているということが本当に凄いなと思いました。特に応援合戦は、団長を中心にしてダンスで何をするのかからフォーメーションまでを書いたものを渡してくれて3年生がとても格好いいなと思いました。今年は負けてしまったけれど、どれもやり甲斐があって楽しかったし、団結している感じが目に見えて分かるのも凄く嬉しかったです。忘れられない思い出になりました。

○ちょっと緊張したけれど、先輩が皆優しく「頑張ろう!」と声をかけてくれたりして、とても楽しい赤船祭をすることができました。団長さんと副団長さんは、上手く指示を出してくれたり、その場の空気をなごましたりしてくれました。応援合戦のリーダーは私たちに一生懸命ダンスや並び順を教えてくださいました。私が先輩になった時は、今の先輩を見習いたいなと思いました。

○最初はやり方もあまり分からなくて、3年生を困らせてしまったことがあって、みんなが協力することが大切だと思いました。3年生は、自分達の勉強もしないといけないうのに、赤船祭全体を仕切ってくれていてとても力があるんだなと思いました。自分達も3年生になったら今の3年生より

すごいと思われるようになりたいです。そのために日々のあいさつや声かけからしっかり意識していきたいです。

○中学生で初めての行事は無事楽しく終わりました。もちろん、勝ったこともうれしいですが、何より自分なりに頑張ってきたのがうれしいです。ただ、リーダーとして何ができたと考えるとできたことは少ないので来年もリーダーをしてリベンジしてみたいと思いました。

○練習が始まる前は、初めてで何も分からないから、ずっと混乱していたけど、練習が始まってから先輩方が優しく教えてくれて、少し困っていたら声をかけてくれたり、ダンスが分からなかったら近くにきて教えてくれたりしたから嬉しかったです。この赤船祭体育競技の部は、先生ではなく3年生の先輩方が大体を考えて作っていたことを知って、とてもすごいなと思い、尊敬しました。

○私は赤船祭で成長したことや学んだことが、いっぱいありました。クラスのために学級旗を責任をもってつくったことや、学年種目の「飛べ」では、チームみんなで声かけや協力をして、全力で頑張れました。先輩とコミュニケーションをして関わることができたり、赤団全員で団結することができたから、団結力は大切なんだと改めて学ぶことができました。

○最後に自分自身もうすでに達成感を感じていたとき、団長を見たら団長もすごく疲れていたけれど何より楽しそうで嬉しそうでした。皆をちゃんとまとめて、最後にはやりきれぬ。自分も3年生になったら最後はこんな風になりたいと思いました。自分が3年生になったら、それを越えるくらいのHigh LevelでMVPな赤船祭にしていきたいです。

2年生の振り返りより

○今年の赤船祭を終えて、過去1楽しかった気がしました。赤団がW優勝したのは勿論凄く嬉しかったけど何よりも一体感、達成感、憧れ感というものをより深く感じる事ができたことで、とても満足しました。これからは、3年生の先輩達のようなメリハリのある全体をまとめられる様な行動など、後輩から尊敬されるような行動をしていきたいです。



○他の学年とも交流をすることができて良い機会だなと思いました。今回の赤船祭を通して、団結力や声かけや楽しむがとても大切なことが分かりました。ミドルリーダーとして3年生を支えて、1年生のお手本になることが、とても大変ということが分かりました。これからあるサバプロなどの行事でミドルリーダーとしての役割を果たせるように頑張っていきたいと思いました。

○赤船祭で成長できたことは、学年や男女に関係なく楽しみながら挑むことができたし、分からないところをお互いに教え合えたりしたので、これを普段の生活にも生かしていけると良いなと思いました。また、自分の殻を破って全力で楽しむことができて、とても良い形で赤船祭を終えることができて良かったと思いました。

○みんなで取り組んで1つのことをやり遂げることへの達成感と一体感を強く感じました。皆で協力して1つになれば、大きな事でも乗り越えられると実感したし、ポジティブな声かけをしたり、競技で失敗しても責めずにお互いを励ましあったりすることがとても大切だと分かりました。これからも生かしていきたいと思いました。

○中学生になって2度目の赤船祭で、1年生の時よりも2年生全体の団結力が高まったと思います。準備や練習は大変だったけれど、赤船祭当日は今までの練習の成果を出すことができました。結果としては、白団は負けてしまったけれど楽しく行うことができました。来年は、自分達がリーダーとなって1、2年生を引っ張っていくので、今年の3年生の様に皆をまとめていけるように頑張っていきたいです。

○今年の赤船祭体育競技の部で思ったことは、全力でやることは楽しいということです。競技の部でも応援合戦の部でも優勝出来なかったのは悔しいけれど、赤船祭が終わった時に、凄く達成感があって、練習の時から先輩や先生達が言っていたように、勝ち負けだけではなく、仲間と頑張ることが大切なんだと感じました。

○今回の赤船祭は去年よりもさらに楽しかったし、自分の最大級の全力を出し切れたと思います。これからは、赤船祭体育競技の部で学んだことを生かし、クラスや学年、学校を通して皆で高め合い、もっともっとONE TEAMになれるように1つ1つのことを全力でやっていきたいです。次は赤船祭文化発表の部やサバプロがあるので、今回優勝できなかった悔しさをバネに練習などを頑張っていきたいです。

○練習での様子や団結力、楽しく行うことが大事でもあることを改めて感じることができました。日比中生の一員として赤船祭を盛り上げることができたので、これからの行事も楽しもうと思いました。運動が苦手でも楽しむことができました。赤船祭でチーム（学校）の団結力が高まったと思います。負けたけれども、練習でのエールや応援でとても盛り上がることができました。白団で良かったと思えました。

○1年の時は、3年生に全力でついていくということが主な目標だったけれど、2年生になってからはミドルリーダーとして、1・3年生の為に団全体の為に、をモットーにどの学年よりも絆を深めて、メリハリをつけて取り組むことができたと思います。この赤船祭で赤団は本当に「チーム赤団」になって1人ひとりが一笑懸命は格好いいと実感して最高の思い出になったと思います。

○赤船祭を全力でやり切り、一生懸命やることの楽しさや大切さが分かりました。何事も全力で取り組みたいです。赤船祭を通して、皆で協力したり、楽しんだり、一体感を高める事ができました。今年は、団を引っ張ってくれた先輩に憧れを感じることもできました。赤船祭で学んだ一生懸命やることの格好良さ、楽しさ、大切さや皆で協力して物事に取り組んでいくことの楽しさなどを日常生活でも大切にしていきたいです。

○この赤船祭を通して、学級、学年、学校の全てのレベルが上がったなと思いました。学級では、2年生はクラス内で赤団と白団に別れたけれど、クラスでは、赤船祭を良いものにして楽しもうという雰囲気がありました。学年では、いろいろなクラスの人とコミュニケーションをとることができて、話し合い活動でさらに学年に一体感が生まれたかなと思いました。学校では、1、2、3年が赤船祭の取組を通して、仲が深まり、学校に一体感が生まれたと感じました。

○今年の赤船祭は、1年生の時と比べて、比にならないほど成長した赤船祭だったと思います。2年生は後輩という存在ができたし、クラスもバラバラになってしまったり大変だったと思います。だけど、先生やリーダーの言うことを聞き、皆がテキパキ動いた事で入退場や行進が上手にできて、1年生に格好いい姿を見せられたのではないかと思います。皆で3年生を支えようという気持ちで全面に出ていて良かったと思います。

○一人ひとりが練習から全力で一生懸命に取り組む大切さや格好良さを学んだ。周りの人と一緒に声を出していくことで他の学年の競技やダンス、団全体を盛り上げていくことに繋がりました。声かけをしたり、赤船リーダーとしてダンスを教えたりして3年生を支えることが出来ました。競技を終えた人に「頑張ったね」や「凄かったね」などの声かけ、1年生に対しても3年生と同じような声かけをして、1年生を引っ張る事が出来ました。2年生はクラスで団が違う人がいたけれど、共に応援し合ったり、声かけをしたりするなど先輩になったことを実感しました。2年生全体が団結して、皆で協力していける学年にしたいと思います。

3年生の振り返りより

○初めて赤団の応援合戦を見た時、とても完成度が高くてやばいと思っていたけど、最後の練習の頃から皆の殻が破れてしっかり声が出ていて安心しました。本番では最高のパフォーマンスができてとても良かった。負けたけれど達成感が味わえたので良かったです。

○3年間で最後の赤船祭体育競技の部で、応援合戦も競技も優勝出来なかったけど、全学年が全力で取り組んでいたのが楽しかった。色んな学年が自分達の学年以外の学年を応援して学年関係なく関わっていていいと思いました。

○今回の赤船祭はこの3年間で一番達成感があった楽しかったです。それは3年生のほとんどの人が赤船祭リーダーで休憩時間も削って話し合ったり、昼ご飯の時もアイデアやスケジュール等細かいことを話し合ったりすることを毎日やってきたからこそその達成感だなと思いました。

○赤船祭が始まる前から、話し合いをしてリーダーが中心となって決めていき団結力が高まったと思います。どうしたら後輩に上手く教えることができるかを考えることが大変で、実際に教えた時には皆が一生懸命に話を聞いてくれて上手になろうと努力していたのが嬉しかったです。中学校生活最後の赤船祭、優勝は出来なかったけどそれよりもやり遂げた感動で涙が出そうになりました。

○自分は応援合戦リーダーという立場でW優勝を目標に赤船祭に取り組みました。頑張っているのは自分たちだけじゃなくて赤団の皆もすごく頑張っていて、その結果が赤団のW優勝だったのでちょっと悔しかったけど、それより達成感が大きかったです。出来ることを最大限にして限界を超えて出来たと思うので本当に感動しました。努力に結果がついてこないこともあるけど、それ以上に得られるものがあるなと思いました。

○中学校最後の赤船祭と聞くととどろんと卒業に近づいているんだと心が痛くなります。でも最後の赤船祭【体育競技の部】は泣いたり笑ったり全力を出し切った赤船祭だったので後悔も何もないです。次は赤船祭【文化発表の部】の方になるけど、全員で頑張っていこうと思います。

○クラス皆で決めた MVP を目標に突き進むことで団結力や一体感が生まれそれが出来た先に達成感や悔しさが生まれてくると分かりました。これから音コンなど学年で1つの目標に向かって突き進み、達成感が生まれるように頑張ろうと思いました。

○団長が中心となって盛り上げて、何度も円陣を繰り返し、校歌や応援歌を皆で円になって歌うことで団全体がまとまり、一人ひとりが全力で校歌や応援歌を歌えるようになりました。どの競技でも皆が全力で応援していたのが良かったです。本番は今までで一番よく声出ていて盛り上がりがありました。競技でも応援合戦でも優勝出来て嬉しかったです。

○練習を重ねる毎に校歌の声もええじゃんやダンスのかけ声も大きくなり、本番では最高の声の大きさとダンスで最高の発表になったと思います。そしてW優勝することができて本当に良かったです。今年の赤船祭【体育競技の部】では、応援合戦リーダーを務めていて達成感を凄く感じることもできる赤船祭になったなと思います。

○私は生徒会で皆の前を歩くのでとても緊張したけれど、全力で声を出すことが出来たし、全校生徒一人ひとりが声を出して良かったと思いました。最高学年となり1、2年に教えたりすることは大変だったけれど、やり切ることが出来ました。みんなでONE TEAMになって練習から全力でしたことで本番も成功させることができたと思います。

○今回の赤船祭は、一生懸命は格好いいし、やり切ることで達成感を感じることができた最高の赤船祭だったと思いました。

